

令和7年度第1回 旭川市上下水道事業審議会会議録

日時	令和7年6月26日(木)午後6時～午後7時06分
場所	旭川市上常盤町1丁目 旭川市水道局庁舎4階 第2会議室
出席者	○旭川市上下水道事業審議会委員(定数 14人) ※五十音順 出席 9人(岩館委員、柏葉委員、後藤委員、斉藤委員、杉村委員、 田畑委員、富田委員、福井委員、山田委員) 欠席 5人(遠藤委員、堂垣内委員、成田委員、橋本委員、吉田委員) ○水道局 13人 佐藤水道事業管理者、幾原部長、鎌田次長、松田次長、山田次長、熊澤課長、十川課長、稲場課長、松本課長、原課長、黒川所長、多田係長、石山
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者	0人
会議内容	1 開会 2 委嘱状交付 3 管理者あいさつ 4 委員紹介 5 事務局紹介 6 会議の運営について 7 会長及び副会長の選出について 8 議事 (1)協議事項 ア.会議の公開等に関する取扱いについて (2)報告事項 ア.上下水道事業について (3)その他 9 閉会
会議資料	・資料1 旭川市上下水道事業審議会委員名簿 ・資料2 旭川市水道事業等及び下水道事業の設置等に関する条例 旭川市上下水道事業審議会規程 ・資料3 旭川市上下水道事業審議会の会議公開等に関する取扱い(案) ・資料4 旭川市水道・下水道ビジョン ・資料5 水道事業・下水道事業 後期財政計画(令和6～9年度)(概要版) ・資料6 水道事業・下水道事業 後期財政計画(令和6～9年度) ・資料7 旭川市の水道と下水道はいくらかかっているの? 令和5年度の決算 (当日配付資料) ・令和7年度上下水道事業審議会スケジュール

議事内容等	発言者	発言の要旨等
1 開会	事務局	定刻となりましたので、ただ今から、令和7年度第1回上下水道事業審議会を開会いたします。
2 委嘱状交付		(佐藤水道事業管理者から各委員に委嘱状を交付した。)
3 管理者あいさつ		(佐藤水道事業管理者よりあいさつを行った。)
4 委員紹介		(出席委員全員、自己紹介を行った。)
5 水道局職員紹介		(幾原部長から順に自己紹介を行った。)
6 会議の運営について	事務局	会議の運営について、資料2に基づき説明した。 本会議は委員14名中9名出席のため、審議会規程第5条第2項に基づき、成立することを報告した。
7 会長及び副会長の選出		会長及び副会長の選出について、審議会規程の第4条により、審議会に会長と副会長を置き、委員の互選により決めることとなっているが、立候補及び推薦がないことから、事務局案として、会長に杉村氏、副会長に岩館氏とする案を提示し、承認された。
8 議事 (1)協議事項 ア.会議の公開等に関する取扱いについて	会 長	8 議事に入ります。 「(1)協議事項 ア. 会議の公開等に関する取扱いについて」、事務局より説明願います。
	事務局	資料3「旭川市上下水道事業審議会の会議公開等に関する取扱い(案)」について説明いたします。 (事務局案として、会議の公開、会議開催の事前公表、会議の傍聴等、会議録の作成方法、会議録及び会議資料の公表について説明)
	会 長	会議の公開等に関する取扱いについては、事務局案のとおりでよろしいでしょうか。 御意見・御質問ございませんか。
	各委員	(なし)
	会 長	御質問・御意見がないようですので、「会議の公開等に関する取扱いについて」は事務局から示された内容で決定します。
(2)報告事項 ア.上下水道事業について	会 長	(2)報告事項 ア.上下水道事業について 事務局より説明願います。

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	事務局	(当日配布資料に基づき年間スケジュール説明後、スライドについては、以下の項目に沿って説明。 1. 旭川市水道局の施策と主な事業内容 2. 上下水道に関する国の動向 3. 旭川市の上下水道の概要 4. 上下水道の老朽管対策 5. 上下水道施設の耐震化 6. ウォーターPPP 導入検討 7. まとめ)
	会 長	ただいま上下水道事業について事務局より報告がありましたが、御意見・御質問ございませんか。
	委員	スライドに国費支援を最大限に活用とかかれております。 内閣官房・各省庁、国土交通省と記載があり、それぞれ事業が分かれていると思います。 特に水道管、下水道管の更新には莫大な事業費が必要ですよね。かなりお金がかかりますけれど、水道料金だけでは到底賄いきれないのではないかと思います。国からの補助は出るものなのではないでしょうか。
	事務局	下水道管については、国費は、対象になる事業に対しては2分の1補助が出ます。水道管についてはいろいろな条件がありますが、補助要件等に合致する計画に基づいて事業を進めようとした場合、一定程度国費が出るということになっています。
	委員	一定程度ということは、例えば半分出たとしても、残りは自分たちで賄わないといけないということですね。
	事務局	そうです。全体的な事業量、新たな耐震診断も踏まえながら実施していく必要があります。
	委員	耐震診断という話がありまして、地震災害リストの高いところからという話も先ほど出てきていましたが、旭川は全国一、地震のリスクが小さいところですよ。 そうすると、国の支援も後回しになるのではないのでしょうか。
	事務局	地震のことを考えますと、旭川で地震が発生する可能性としては低いと思います。ただ、老朽化という観点から考えますと、旭川も老朽化の課題があり、そういったことも考えながら国費支援の活用を進めていくことになります。

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	委員	水道管の耐用年数が40年。下水道管は50年。 なんとなく、下水管のほう汚れが早いのではないかという単純な考えがあるのですが、使っている材質の違いなのか、水道はやはり私たちの口に入る物なので、耐用年数を短くして雑菌とか老朽化しないように40年、50年と区切っているのでしょうか。
	事務局	水道管については、先ほど委員がおっしゃいましたように衛生管理は非常に大切で、それを踏まえての耐用年数となっています。旭川では塩化ビニル管が使われていますが、そちらの耐用年数は40年くらいとなっています。 水道管については、水圧もかかっています。内面から圧力がかかることによっても劣化するので、それらも考慮されています。
	委員	先ほど、塩ビ管という話がありましたが、耐震化などは大丈夫なのでしょうか。
	事務局	塩ビ管は昭和40年代まで使っていましたが、今は塩ビ管を使っていません。現在は耐震性能があるポリエチレン管、鋳鉄管を使用しています。
	委員	塩ビ管はまだ大分残っているのでしょうか。
	事務局	水道管の更新は、塩化ビニル管を中心に進めていっていますが、年間約1%の割合で更新を進めているところであります。
	会長	ほかに意見はありませんか。
(3)その他	会 長	その他委員の皆様から何かございませんか。
	各 委 員	(なし)
	会 長	事務局から何かございませんか。
	事 務 局	次回、第2回審議会につきましては、8月下旬で日程調整をさせていただき、石狩川浄水場及び下水処理センターの施設見学を予定しております。 日程が確定次第、正式なご案内をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
3 閉会	会長	それでは本日の会議はこれで終了といたします。